

1. 件 名：訓練のあり方及び規制の関与の検討に係る試行について

2. 日 時：令和4年11月2日 16:00～17:30

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室 川崎企画調整官、反町専門職

専門検査部門 関企画調査官、岡村検査官、長澤検査官

核燃料施設等監視部門 平野主任監視指導官

四国電力株式会社

原子力本部 管理グループリーダー 他5名

5. 要 旨

四国電力から、伊方発電所で実施する防災訓練において試行する「マルファンクション付与等により現場での臨機の対応を確認できる訓練」について、資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、四国電力の今年度の訓練予定について尋ねたところ、四国電力から本試行を行うのはⅡ型訓練が適当であると考えている旨の回答があり、その方向で準備することになった。

6. その他

配布資料：

資料1 マルファンクション付与訓練試行の検討について（四国電力株式会社）